

2018年12月26日

パナソニックインパルスに対する日本社会人アメリカンフットボール協会からの処分について

平素よりパナソニックインパルスに対してご声援いただき、誠にありがとうございます。

元パナソニックインパルスの選手であるベンジャミン・アンダーソン（26歳・米国籍）、エドワード・バーンズ（26歳・米国籍）の両名が、大麻取締法違反容疑で逮捕・起訴された件につきまして、12月26日、日本社会人アメリカンフットボール協会より、以下の通知がございました。

<処分内容>

1. ベンジャミン・アンダーソン、エドワード・バーンズ2名を無期限の選手登録抹消
2. チーム責任者 四方哲郎部長を公式戦参加の資格停止処分

*資格停止期間は、2018年12月4日から2019年6月3日までの6ヶ月間

日本社会人アメリカンフットボール協会からの処分を厳粛に受け止め、今後再発防止に努めてまいります。

なお、当社およびチームは、今回の事態を重く受け止め、すでに公表のとおり以下の処分を実施しております。

1. ベンジャミン・アンダーソン、エドワード・バーンズ2選手の契約を解除
2. 当面の間、インパルスとしてのチーム活動を自粛
3. 部長の四方哲郎、監督の荒木延祥は、6ヶ月間のチーム活動停止

また、2019年春季開催予定の第65回西日本社会人アメリカンフットボール選手権大会、および第69回神戸ボウルへの出場は辞退いたします。皆様には多大なるご迷惑をおかけしたことを深く反省し、お詫び申し上げます。

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社
パナソニックインパルス